

# ICP Class

## 4期生・5期生の留学直前インタビュー in Japan

学部留学を目指し、英語力を高めるべく奮闘している学生たち。ICPの授業ってどんな内容？ 英語力はアップした？ 留学に向けての意気込みは？ など、気になるあれこれを聞いてみました。

### 「留学を通じて、多様性を受け入れる力や 自分を客観視する力を身につけたい」

ICP1期生の姉から留学の話聞いて、「楽しそう」と思ったのがICPに入ったきっかけです。1年次はほとんどの授業が英語で行われ、しかも頻繁にプレゼンがあったりして大変でしたね。プレゼンのテーマは、イギリスの文化だったり、北朝鮮や宗教についてだったり幅広く、日本語で書いたり発表するだけでも高度な内容なのに、それを英語でやるという難しさがありました。

ICPのクラスは学生同士の仲がよく、とてもいい雰囲気です。ディスカッションも活発だし、みんなで高め合って成長している感じがですね。僕は入学前、英語はそこまで得意ではなかったけれど、ネイティブの先生と会話を重ねるうちに、気づいたら英語がスラスラ口から出てくるようになっていました。

実は留学を前にして、「本当に今、行く必要があるのか？」と悩んだ時期もありましたが、悩んだからこそ「留学に行く意味」や「将来のビジョン」について真剣に考えることができました。「将来は教育に携わりたい」という目標が明確になったので、教育

IoTの本場・アメリカ東海岸に留学し、教育学や青年心理学を学びたいと思っています。また、さまざまな文化や思考を持つ人々とのふれあいを通じて、「多様性を受け入れる力」や「自分を客観視する力」も磨いてきたいと思っています。

#### Key of Growth



#### 大変なプレゼンをやりがいに変えた

プレゼンの機会が豊富なこともICPの授業の特徴。「プレゼンは大変だったけど、「自分のスキルを見せる場」と捉えてモチベーションアップにつなげました」と森山さん。

## Seisuke Moriyama

森山晴介さん

(留学先:アーケイディア大学/出身高校:私立中央国際高等学校)



## Kaho Kobayashi

小林香歩さん

(留学先:カリフォルニア州立大学フラトン校/出身高校:私立松本第一高等学校)

### 「将来の夢に向けて観光学を学びつつ異文化理解も深めたい」

将来は「空港で働くグランドスタッフになりたい」という夢があり、親の勧めもあってICPに入りました。入学前は正直、「ICPって少人数クラスだし、普通の大学生活のような楽しさがないのでは？」と思っていたのですが、今は自信を持って「ICPでよかった」と言えます。クラスの仲間は、辛い時は励まし合う家族のような存在であり、一番身近なよきライバル。みんな努力家なので、いつの間にか自分も「がんばることが当たり前」と思うようになり、英会話教室に通ったり、海外の映画を英語字幕で観たりするようにもなりました。

高校時代は英語のテストの点数はよかったです。しゃべるとなると全然ダメで。入学したての頃はあまり発言できなかったけど、ICPで学ぶうちに「間違った英語でもいいからしゃべることが大事」と思えるようになり、性格も入学前と比べて積極的になったと思います。

ICPで学んでみて、スピーキング力が伸びたのはもちろんですが、英語がより身近になったのを実感しています。先日も、休みの日にICPの友達とご飯を食べに行ったのですが、気づいたら英語で会話をしていた、そんな自分にびっくりしました。

留学先では、将来の夢に向けて観光学を学びながら、いろんな人種の人とふれあってきたいです。

#### Key of Growth

#### 先生や仲間のおかげでがんばれた

「英語で思いを伝えられない」と悩んでいたとき、先生のアドバイスで自信を持てるようになったという小林さん。同じ目標を持つクラスメイトの存在も励みだったそうです。

